

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第209号
事故等種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成26年11月15日 14時10分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市上水島東岸沖 水島港西1号防波堤灯台から真方位246°1,400m付近 (概位 北緯34°27.81′ 東経133°43.18′)
事故等調査の経過	平成26年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 柳勝、2.2トン
船舶番号、船舶所有者等	260-35146岡山、株式会社柳勝運輸
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 浮子綱数本が切断
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人（以下「同乗者」という。）5人を乗せ、倉敷市水島港に向け、手動操舵により約24ノットの速力で北東進した。 船長は、西寄りの風が吹いていたので、上水島東岸に寄せて北進中、前方に‘上水島東岸沖に設置されたのり養殖施設’（以下「本件養殖施設」という。）のブイを認め、ブイの間であれば航行できると思って北進を続けていたところ、ブイから延びているロープに気付いて減速した。 本船は、平成26年11月15日14時10分ごろ本件養殖施設に乗り入れて絡網した。 船長は、海上保安庁に通報して救助を要請した。 本船は、来援した巡視艇により、水島港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 不詳、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	船長は、上水島周辺を航行した経験が約3回あり、本件養殖施設の存在を知っていた。 船長及び同乗者5人は、救命胴衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象等の関与	なし

判明した事項の解析	本船は、上水島東岸沖を北進中、船長が、前方に本件養殖施設のブイを認めた際、ブイの間であれば航行できると思って北進を続けたことから、本件養殖施設に乗り入れ、本件養殖施設が損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、上水島東岸沖を北進中、船長が、前方に本件養殖施設のブイを認めた際、ブイの間であれば航行できると思って北進を続けたため、本件養殖施設に乗り入れたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 養殖施設の設置区域を確かめ、同区域に接近しないよう航行すること。